

Q 一般学級入試では、第1回と第2回入試の問題の難易度に差がありますか。また、入試問題の傾向について教えていただけますか。

A 科目によっては1回目より2回目のほうが多少難易度が高くなっていますので、過去問題を参考にしてください。また、出題傾向に関しては、本校の入試説明会で教科主任による説明をお聞きください。

Q 一般学級の試験では、第1回と第2回のほかに特別選抜という試験があるようですが、詳しく教えてください。

A 第1回・第2回試験が4教科であるのに対し、特別選抜は算数1教科か国語1教科の試験です。男子小学生の中には、「算数は一生懸命やるが、他教科はあまりやらない」「読書は大好きだが、教科の勉強はあまりしない」などの理由で4教科受験に失敗してしまう子供もいるはずです。そのような子供たちに機会を与えて、入学してから数学や国語の力を伸ばし、4教科型で入学した生徒と同じ学力になるようにします。

試験内容としては、算数は“基礎学力をみるための問題”と“応用力をみるための問題”に分かれています。また、国語は、「耳で理解して書けること」「自分の考えや意見等をしっかり文章にできること」などに重点をおいた問題となっています。

Q 第1回と第2回を続けて受けると有利になると聞きましたが、本当ですか。

A その通りです。第1回・第2回連続受験者を、本校では“熱望組”と呼んでいます。熱望組の受験生は、合格最低点に達していない場合でも、ある範囲で点数をプラスし、同格最低点に到達すれば正規合格として発表します。（第1回の成績と第2回の成績でどちらか合格最低点に近い点を基準とします）

具体的には、第1回の合格最低点が180点で本人の成績が175点、第2回の合格最低点が190点で本人の成績が180点だったとして、仮に加算点をプラス5点とした場合、第1回の本人成績に5点を加えると合格最低点180点となるため、175点でも合格とします。

なお、加算する点は毎年変わりますし、この範囲に人数も毎年変わります。ちなみに平成30年度入試における熱望組からの合格者数は22人でした。

Q 補欠合格や繰上げ合格はあるのでしょうか。

A 毎年、合格者数が募集定員より多くなっています。これは、補欠合格も含めて合格者を出しているからです。一般的に補欠合格は定員に達しない場合に行うものですが、本校では、欠員になる数を予測して、すべて正規合格として発表しています。（入学手続き状況によっては、繰り上げ合格を出す場合があります。）

Q 卒業生の子弟や在校生の弟が受験する場合、何か特典はありますか。

A 私立学校ですので、多少は考慮します。それは、卒業生が母校を良い学校であったと考えたからこそ子供や孫を受験させたということや、在校生の保護者が本校の教育方針にご賛同いただけたためと考えるからです。学力試験は公平であるべきだという原則を踏まえた上で、ボーダーライン上にある場合は考慮します。

Q 一般学級の入学試験の時間帯と配点を教えてください。

A 平成30年度入学試験における時間帯と配点は次の通りでした。なお、各教科別の合格基準点は設けておりません。

■ 第1回・第2回試験					
午前8時までに登校し試験場へ					
	1	2	3	4	
時間帯	8:30～9:20	9:35～10:15	10:30～11:10	11:25～12:15	
教 科	国語(50分)	社会(40分)	理科(40分)	算数(50分)	

■ 特別選抜試験				
午前8時までに登校し試験場へ				
算数1(50分)	8:40～9:30	算数2(60分)	9:45～10:45	
国語1(50分)	8:40～9:30	国語2(60分)	9:45～10:45	

■ 第1回・第2回試験配点						
科 目	国 語	算 数	社 会	理 科	総 点	
配 点	100点	100点	50点	50点	300点	

■ 特別選抜試験配点				
科 目	国語1	国語2	算数1	算数2
配 点	100点	100点	50点	100点

Q 国際学級の入学試験について教えてください。

A 国際学級の試験科目は、国語・算数2科目か英語1科目のどちらかを選んで受験してもらいます。英語については、英語検定試験の準1級から2級程度、国語・算数については、一般学級の試験問題に準じたレベルで出題します。大問の配置や出題ジャンルが一部異なり、一般学級入試の問題よりは解きやすくなっていますが、過去問題を参考にした学習も求められます。また、保護者同伴の面接は参考程度です。平成30年度入学試験における時間帯と配点は次の通りでした。

■ 国際学級試験 午前8時までに登校し試験場へ				
		1	2	3
国語・算数受 験	時間帯	8:30～9:10	9:25～10:05	10:20～
	教 科	国語(40分)	算数(40分)	面接
英語受験	時間帯	8:30～9:30	9:45～	
	教 科	英語(60分)	面接	

■ 国際学級試験配点					
科 目	国 語	算 数	総 点	英 語	総 点
配 点	100点	100点	200点	100点	100点

■ 平成30(2018)年度入学試験結果								(人)	
	日程及び募集人員			志願者数	受験者数	合格者数	繰上合格者数	合格者最低点	
国 際	1月11日	40	国算20	133	109	42	0	121	
			英20	75	67	37	0	48	
一 般	2月1日	第1回	100	4科	417	379	195	0	174
	2月2日	第2回	70	4科	636	394	176	0	198
特 選	2月5日	30	国10	101	80	12	0	129	
			算20	184	126	21	0	100	
	合 計	240			1546	1155	483	0	—

■ 第1回入試科目別平均点(一般学級)					
	国語	算数	社会	理科	合計
合格者平均点	55.8	69.2	33.0	34.5	192.4
受験者平均点	51.4	57.8	29.7	31.2	170.1
配 点	100	100	50	50	300

■ 第2回入試科目別平均点(一般学級)					
	国語	算数	社会	理科	合計
合格者平均点	53.0	77.5	40.7	38.6	209.8
受験者平均点	46.9	64.1	37.7	33.8	182.4
配 点	100	100	50	50	300

■ 国際学級入試科目別平均点				
	国語	算数	英語	合計
合格者平均点	58.9	79.3	58.9	国算 138.2
				英 58.9
受験者平均点	50.2	64.1	48.6	国算 114.4
				英 48.6
配 点	100	100	100	—

Q 特待生制度があると聞きましたが、どのような制度ですか。

A 本校の特待生制度は、入学金と授業料免除の特典が与えられる制度です。一般学級入試では、第1回・第2回それぞれの試験における上位成績者を、また国際学級入試では、国語・算数、英語それぞれの試験の上位成績者を、それぞれ特待生として合格発表のときに発表します。特待生制度に関しては19、20ページの入試要項も併せてご覧ください。



創立者・近藤真琴先生

■ 特別選抜入試科目別平均点			
	国語Ⅰ	国語Ⅱ	合計
合格者平均点	69.5	67.4	136.9
受験者平均点	55.5	49.6	105.1
配 点	100	100	200

	算数Ⅰ	算数Ⅱ	合計
合格者平均点	38.6	74.9	113.5
受験者平均点	29.4	44.6	74.0
配 点	50	100	150

